



---

---

# AT-TQ4600/4400 リリースノート

---

この度は、AT-TQ4600/4400 を買いあげいただき、誠にありがとうございます。このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注視点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

---

## 1 ファームウェアバージョン 3.0.3

---

### 2 本バージョンで仕様変更された機能

---

ファームウェアバージョン **3.0.2** から **3.0.3** へのバージョンアップにおいて、以下の仕様変更を行いました。

---

#### 2.1 EAP message フレーム

本製品が送信する EAP message フレームの ID を常時 0 から開始していましたが、セキュリティ強化のためランダムな値 (0 から 255) を付与するように仕様変更しました。

---

### 3 本バージョンで修正された項目

---

ファームウェアバージョン **3.0.2** から **3.0.3** へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。


- 3.1 WDS 運用モードを「サテライト AP」に設定すると、WDS の接続相手が見つけれない場合に不正なメモリアクセスが発生することがありましたが、これを修正しました。
- 3.2 ごくまれに SNMP 設定を変更した際に、Coldstart Trap を送信してしまう場合がありましたが、起動時のみ送信するよう修正しました。
- 3.3 コンフィグレーションファイルが壊れてしまった場合に、再起動を繰り返すことがありましたが、破損を検出すると工場出荷時設定に戻るよう修正しました。
- 3.4 無線クライアントが低消費電力モード（パワーセーブやスリープ）に移行したまま、接続中の本製品から完全に見えなくなってしまった場合（別の AP にローミングしたり、電源オフなど）、無線クライアントがいなくなったことを即時に判断できないため、LAN からその無線クライアントへ向かうパケットを内部キューに保存します。その後、その無線クライアントの復旧が検出されないと、保存したパケットが正常に破棄されなくなり、送信できない状態になることがありましたが、これを修正しました。
- 3.5 WDS リンクを構成している無線インタフェースの MAC フィルタリング設定を変更する際に、WDS リンクの切断や再起動が発生する場合がありますが、これを修正しました。

## 4 本バージョンでの制限事項

---


ファームウェアバージョン **3.0.3** には、以下の制限事項があります。

### 4.1 VAP

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VAP」](#)

ダイナミック VLAN (WPA エンタープライズ) 環境で、無線クライアントの検疫を実行するように RADIUS サーバーが設定されている場合、無線クライアントに VLAN 間ローミングが発生すると、無線クライアントの認証に失敗することがあります。

### 4.2 WDS 多段接続

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「WDS」](#)

多段で WDS 構成をする場合は、3 台程度での構成を推奨します。

AP -- (WDS) -- AP -- (WDS) -- AP


注意：AP を何段も経由するとスループットが低下するため、導入の際は実環境にて事前調査を行うことを推奨します。

### 4.3 MAC フィルタリング

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「MAC フィルタリング」](#)


MAC フィルタリング機能の「リスト上の全てのステーションをブロックする」フィルターと WDS の併用はできません。併用すると WDS のリンクが切断されてしまいます。WDS と MAC フィルタリングを併用する場合は、「リスト上のステーションのみを許可する」を選択し、無線クライアントのリストに対向 AP の MAC アドレスを追加してください。

### 4.4 クラスター

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「クラスター」](#) / [「アクセスポイント」](#)


クラスター機能において、ひとつのクラスターに所属可能なアクセスポイント数を超える台数 (17 台以上) を追加すると、画面上では 17 台目以降の情報は表示されませんが、アクセスポイントにはクラスターの設定が共有されたり誤動作を起こすことがあります。

### 4.5 送信 / 受信

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「ステータス」](#) / [「送信 / 受信」](#)

起動の際に、VAP インターフェースの送信カウンターがカウントアップしますが、表示のみで実際にはパケットを送信していません。

### 4.6 SNMP

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

SNMP の設定において、「SNMP SET リクエストの許可」は未サポートです。

### 4.7 AT-UWC デバイスロケーション機能

AT-UWC のデバイスロケーション機能には対応していません。5GHz 帯でデバイスロケーションを実行すると運用チャンネルが W52 帯のチャンネルになってしまう場合があります。

## 5 リファレンスマニュアルについて

---

最新のリファレンスマニュアル（613-001965 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されていません。本リリースノートは、上記のリファレンスマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのリファレンスマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>